



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和3年10月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

本物に触れ、学びを深めることができる上平小学校

校長 林 秀次

朝晩の気温が下がり、例年と同じように、少しずつ山の木々が色づき始め、秋の訪れを感じさせるようになってきました。本県のコロナ感染症のステージも下がりはしましたが、まだまだ気を許すことができない状況が続いています。コロナ禍においては「これまでと同様」に物事を進めることが難しく、残念ながら本校でも、学習発表会はじめいくつかの活動を縮小・変更したり中止したりしました。

そんな中でも、子供たちの「ふるさとを知る」「ふるさとに学ぶ」という学びを止めないように、少人数の利点を生かし、感染防止に努めながら、地域の校外学習に出かけたり地域の方にご来校いただいたりして、できる限り地域の文化に触れたり地域の方の思い、願いを感じたりする機会を大切にしてきました。民謡学習をはじめ、低学年の地区探検や地域の素敵な方を招いてお話を聞く活動、中学年のカイコの飼育を通してこの地域の昔の生活に触れる活動、高学年の地域の特産物であるポベラの栽培や、ポベラを使ったお菓子づくり、5年生の防火にかかわる取組など、どの活動においても地域の皆様はご多用にもかかわらず快く時間を割き、教員の考えるねらいに沿ってご指導してくださいました。本当にありがとうございました。子供たちの様子からも、これらの学習が心に深く刻み込まれていることが見受けられます。



「これまでと同様」が難しい状態での取組の中で、本校が、地域の皆様の熱い思いや豊かな人材、歴史に彩られた文化、素晴らしい自然に支えられている類まれな学校であること、本物に触れ、学びを深めることができる学校であることを改めて感じました。

これからもこの恵まれた環境の中、地域の皆様方、保護者の皆様方と一体となって子供たちを育てていきます。

今できることを考えて活動する

児童会担当 神谷 晃正

新型コロナウイルスの感染予防のため、一昨年度から全校児童が集まる場で委員会の発表する機会がなくなってしまいました。そんな中、子供達は自分たちの委員会で今できることを考えて、学校をより良くするために活動しています。企画ボランティア委員会では、1学期の活動状況を振り返り、2学期に自分達に何ができるか考えて企画を作り上げました。1学期の「挨拶活動」では、自分たちの活動方法では効果が薄かったと振り返りました。そこで、今できている挨拶をより良くするために、クラスで半数以上の子が目当てのあいさつが達成できたら1つ花を掲示する「あいさつの花をさかせる」活動を企画しました。1週間の活動で多くの子供達がめあての挨拶ができ、たくさんのお花を咲かせることができました。今までの活動を振り返り、自分たちの今できることを考え活動することができる上平小の子供達は本当に素敵だと感じました。

